学校番号	403

令和２年度　国語科

教科	国語科	科目	国語総合Ｂ	単位数	３／５	年次	１
使用教科書	精選国語総合（三省堂出版）						
副教材等	プレミアムカラー国語便覧（数研出版） 古典アチーブ１三訂版（桐原書店） 完全マスター古典文法[新版五訂]（第一学習社） 完全マスター古典文法[新版五訂演習ノート（第一学習社） 古文単語 330[新訂版]（文英堂） 古文単語 330[新訂版]ワークノート（文英堂）						

１　担当者からのメッセージ

・１年生は中学校の復習も含めた基礎的な国語の力を身に付ける大切な時期です。
・古典の時間では、有名な古文と漢文の作品に親しむとともに、正しく理解するために語彙力や文法の知識を身に付けてください。
・授業の後には必ず復習をしてください。繰り返し学習が大切です。
・提出物の期限は守りましょう。
・定期考査前に焦って勉強するのではなく、日々の学習を大切にしましょう。

２　学習の到達目標

・文章に書かれていることをきちんと理解できる。
・質問に対して、的確に場に応じた言葉遣いで答えることができる。
・豊かな想像力を場面に応じて活用することができる。
・伝統的な言語文化に対する関心を持ち、国語を尊重する態度を育んでいる。

３　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a:関心・意欲・態度	b :読む能力	c :知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
評価方法	行動の観察 発表を評価	記述の確認及び分析 （ワークシート） 定期考査	行動の観察 定期考査 小テスト
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点			単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c		
1学期	古文入門	説話『宇治拾遺物語』 「児のそら寝」 「絵仏師良秀」 『今昔物語集』 「検非違使忠明」 文法①（歴史的仮名遣い、用言）	○	○	◎	a:古典に親しみ、時代背景の違いを理解したうえで共感できる。 b:登場人物の心情を表現に即して読み、理解できる。 c:古文を読むことに役立つ、文語のきまりを身に付けている。今後3年間の基礎作りであるので、しっかり身に着けたい。	a:行動の観察と発表 b:定期考査とワークシート c：小テストと定期考査
	物語・随筆	物語『竹取物語』 「かぐや姫の生い立ち」など 随筆『徒然草』 「つれづれなるままに」など 文法②（助動詞①）	○	○	◎	a：「古文入門」で身に着けた知識を使って、古文を味わうことができる。 b：登場人物の行動や作者の主張を理解できる。 c：歴史的仮名遣いと用言を理解できる。 助動詞①（ず・けり・なりなど使用頻度の高いものに触れる程度に留める）	a:行動の観察と発表 b:定期考査とワークシート c：小テストと定期考査
2学期	漢文入門・故事成語	故事成語「推敲」 「蛇足」など 漢詩「春暁」「静夜思」など 句法①（訓点、再読文字）	○	◎	○	a:漢文で描かれている世界に関心を持つことができる。 b:漢文のルールを知り、内容を理解できる。漢詩を美しく音読できる。 c:漢文の構造と訓読の仕方を身に着けている。	a:行動の観察と発表 b:定期考査とワークシート c：小テストと定期考査
	物語	物語『伊勢物語』 「筒井筒」など 紀行『奥の細道』 「白川」「立石寺」 文法③（助動詞②）	○	○	◎	a:古文の世界に関心を持って学習できる。 b:時代背景や文化風習の違いを知り、古文を味わい登場人物の心情理解にやくだてることができる。 c:文法事項を理解し、身につけている。 助動詞②（き・けり・つ・ぬ・たり・り・ず・む・べし）	a:行動の観察と発表 b:定期考査とワークシート c：小テストと定期考査
3学期	和歌・文章	和歌『万葉集』 『古今和歌集』 文法④（和歌の修辞法） 漢文『雑説』 句法②（使役・受身など）	○	◎	◎	『百人一首』大会に向けて和歌を学習する a：百人一首を覚えて大会を楽しめたか。 漢文で描かれる世界に関心を持てたか。 b：和歌を通じて文化伝統に触れ、理解できたか。 訓点を使って読み下せる。 c：和歌の修辞法を理解する（枕詞・掛詞・序詞など） 言語の違いを分かった上で、句法を理解する。	a:行動の観察と発表 b:定期考査とワークシート c：小テストと定期考査

※　表中の観点について

a:関心・意欲・態度　　b:読む能力　　c:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。